

# 一人一人の行動で安全対策を

## 何気ない日常を取り戻すために今できることを

# 翌 檜 新 聞



志 寛 錬

第8号  
2021.9.30  
第75代  
伊敷中生徒会



### 分散登校開始

9月1日より2学期が始まりました。まん延防止等重点措置により、2学期が分散登校でのスタートとなりました。

学校は始まりましたが、様々な活動が制限されています。生徒会活動もその一つで、週番活動等ができない現状にあります。

毎日、3年生昇降口に立って検温・消毒をしてくださっている3年学年主任の橋口真一先生は、「生徒みんな



昇降口で検温する生徒



オンラインでの授業の様子

で遊んだり、話したりさせたいけれど、今は何より命が最優先なので、苦渋の決断ですが、分散登校をしています。けれど、毎日昇降

口で検温することで生徒一人一人の表情を見て挨拶をすることは、今まではできなかったものでうれしい。」と話されています。

### 気づき考え実行する

#### 青少年赤十字トレセン

8月5日、生徒会役員数名で「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター(トレセン)」に参加してきました。

トレセンとは青少年赤十字についての理解を深め、生徒会活動の活性化を図るためのものです。青少年赤十字では、伊敷中の教室に掲示されている「気づき考え実行する」を大切にしています。赤十字には「人道、

「独立」「単一」などの七つの原則があり、これらの原則はすべて「健康・安全」「奉仕」、「国際理解・親善」のためにあるということなども学びました。

また、各学校の生徒会活動の情報交換も行いました。様々な学校の人と情報交換を行うことで、客観的に伊敷中の活動を見直すことができました。また、他校の取組を聴くよい機会となりました。

(田代紅愛)

私たちにできることをしていきましょう。  
(皆倉甫光)

### 生徒会の窓

昨年大ヒットを記録した「鬼滅の刃」。その「無限列車編」が先日地上波で初放送されました。この映画の中で注目すべきは炎柱の「煉獄杏寿郎」。そのまっすぐな生き方に多くの人が心を打たれたはずです。私もその一人ですが、特に好きな言葉は「胸を張って生きろ。己の弱さや不甲斐なきにどれだけ打ちのめされようと心を燃やせ。君が足を止めてうずくまっても時間の流れは止まってくれない。共に寄り添って悲しんでくれない。」というものです。これは、煉獄が死ぬ直前に主人公竈炭治郎らに向けた言葉です。



今回のFACEは夏休みに九州大会、全国大会に出場した柔道部のみなさんです。全国大会に出場するまでに並々ならぬ努力をしたことと思えます。どのような思いをもって大会の臨んだのか、柔道部のみなさん取材しました。

# FACE

柔道部 林 佳穂  
柔道部 長元佳奈

「人生」とはそううまくいかないもので、失敗をしまったり、間違ってしまったたりすることは多々あります。自信を失うこともあるかもしれませんが、それでも私たちは生きていかなければなりません。辛い苦しい中、前を向いていくことは大変なことかもしれませんが、そんな中でも燃やしたいと思わせてくれる映画でした。

- Q1 全国大会で印象に残っていること、思い出は。  
A1 初めての全国大会で緊張したが、個人戦では一本勝ちできたので自信になった。(林)
  - Q2 これまでの部活動で思い出に残っていることは。  
A2 3年間、厳しい練習を仲間と一緒に乗り越えられたこと。(林)
  - Q3 後輩たちへ伝えたいことは  
A3 コロナ禍で、試合などが中止になっているけれど、今できることに力を合わせて頑張ってもらいたい。(長元)
- 貴重な経験をした柔道部のみなさん。これまでの部活動で培ってきた力を様々な場面で発揮してってください。  
(武 大叶)

### 編集後記

(峯古泰志)

まん延防止措置により時差登校、オンライン授業が一月続けられました。この間、学級の友達との関わりが制限され、生徒会活動も停止となりました。今号までは表面での発行です。普段の日常生活のありがたさ、人とのつながりの大切さを感じた日々だったと思います。早く日常生活を取り戻せることを願って、第8号を発行したいと思います。  
(芹ヶ野結惟)

# 一人一人の行動で安全対策を

## 何気ない日常を取り戻すために今できることを

# 翌 檜 新 聞



志 寛 錬

第8号  
2021.9.30  
第75代  
伊敷中生徒会



### 分散登校開始

9月1日より2学期が始まりました。まん延防止等重点措置により、2学期が分散登校でのスタートとなりました。

学校は始まりましたが、様々な活動が制限されています。生徒会活動もその一つで、週番活動等、できない現状にあります。

毎日、3年生昇降口に立って検温・消毒をしてくださっている3年学年主任の橋口真一先生は、「生徒みんな



昇降口で検温する生徒



オンラインでの授業の様子

で遊んだり、話したりさせたいけれど、今は何より命が最優先なので、苦渋の決断ですが、分散登校をしています。けれど、毎日昇降

口で検温することで生徒一人一人の表情を見て挨拶をすることは今まではできなかったのだけれど、と話されていました。

先の見通しが立てられない現在ですが、自分や周りの命を守るため、そして何気ない日常を取り戻すために、私たちに

### 気付き考え実行する

#### 青少年赤十字トレセン

8月5日、生徒会役員数名で「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター(トレセン)」に参加してきました。

トレセンとは青少年赤十字についての理解を深め、生徒会員の活性化を図るためのものです。青少年赤十字では、伊敷中の教室に掲示されている「気付き考え実行する」を大切にしています。赤十字には「人道」「独立」「単一」などの七つの原則があり、これらの削減はすべて「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」のためにあるということなども学びました。

また、各学校の生徒会活動の情報交換も行いました。様々な学校の人と情報交換を行うことで、客観的に伊敷中の活動を見直すことができました。また、他校の取組を聴くよい機会となりました。

(田代紅愛)

きることをしていきましよう。(皆倉甫光)

### 生徒会の窓

昨年大ヒットを記録した「鬼滅の刃」。その「無限列車編」が先日地上波で初放送されました。この映画の中で注目すべきは炎柱の「煉獄杏寿郎」。そのまっ

すぐな生き方に多くの人が心を打たれたはず。私もその一人ですが、特に好きな言葉は「胸を張って生きろ。己の弱さや不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと心を燃やせ。君が足を止めてうずくまっても時間の流れは止まってくれない。共に寄り添って悲しいはくれない。」というものです。これは、煉獄が死ぬ直前に主人公竈炭治郎らに向けられたものです。



今回のFACEは夏休みに九州大会、全国大会に出場した柔道部のみなさんです。全国大会に出場するまでに並々ならぬ努力をしたことと思えます。どのような思いをもって大会の臨んだのか、柔道部のみなさん取材しました。

# FACE

部道部  
林 佳穂  
柔道部  
長元佳奈

- Q1 全国大会で印象に残っていること、思い出は。  
A1 初めての全国大会で緊張したが、個人戦では一本価値できたので自信になった。(林)
  - Q2 これまでの部活動で思い出に残っていることは。  
A2 3年間、厳しい練習を仲間と一緒に乗り越えられたこと。(林)
  - Q3 後輩たちへ伝えたいことは  
A3 コロナ禍で、試合などが中止になっているけれど、今できることに力を合わせて頑張ってもらいたい。(長元)
- 貴重な経験をした柔道部のみなさん。これまでの部活動で培ってきた力を様々な場面で発揮してってください。(武 大叶)

### 編集後記

(峯古泰志)

「人生」とはそううまくいかないもので、失敗をしまったり、間違ってしまったたりすることは多々あります。自信を失うこともあるかもしれませんが、それでも私たちは生きていかなければなりません。辛い苦しい中、前を向いていくことは大変なことかもしれませんが、そんな中でも燃やそうとできる心を持ちたいと思わせてくれる映画でした。

でも、困難にも耐えうる燃える心はすぐに育つものではありません。日々の生活の中で心を育てていくことを意識していくことが大事です。それは日常の授業の中で、生徒会活動で、友達や家族と接する中で、様々な場面で私たちは心を育て

(芹ヶ野結惟)